

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ダイキアキス
 コード番号 4245
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <http://www.daiki-axis.com>
 (氏名) 大亀 裕
 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	25,687	△3.4	830	9.9	961	12.3	335	△21.2
2019年12月期第3四半期	26,590	4.4	755	69.0	856	46.4	426	△16.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 391百万円(△6.3%) 2019年12月期第3四半期 417百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	27.94	27.90
2019年12月期第3四半期	35.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	25,461	9,246	28.2
2019年12月期	29,907	9,203	23.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 7,169百万円 2019年12月期 7,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2020年12月期	—	12.00	—		
2020年12月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	34,400	△3.8	1,010	0.9	1,160	0.4	550	△29.7	44.32	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、本日(2020年11月13日)公表いたしました「2020年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期3Q	12,408,800株	2019年12月期	12,408,800株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	383,698株	2019年12月期	394,598株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期3Q	12,019,161株	2019年12月期3Q	12,001,525株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	265億90百万円	256億87百万円	△9億2百万円	△3.4%
営業利益	7億55百万円	8億30百万円	+74百万円	+9.9%
経常利益	8億56百万円	9億61百万円	+1億5百万円	+12.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4億26百万円	3億35百万円	△90百万円	△21.2%

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、国内外ともに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な拡がりにより悪化いたしました。当社グループの属する業界におきましても、営業活動の制限により受注が先延ばしとなる等の影響が発生しております。

このような状況のもと、将来の収益性の向上に重点を置いた以下の戦略を推進いたしました。

セグメント	戦略
環境機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外における事業展開の推進 ・ストックビジネスとしてのメンテナンス事業および上水エスコ事業の営業強化
住宅機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ECビジネスを開始する等、安定事業から成長事業への転化
再生可能エネルギー関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会の実現と安定収益確保の強化

当第3四半期連結累計期間の売上高は256億87百万円(前年同期比3.4%減)となりましたが、全般的な利益改善を進めたことから売上総利益は54億30百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は8億30百万円(前年同期比9.9%増)および経常利益は9億61百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

特別損益について、関係会社株式売却益1億52百万円(連結子会社の株式会社DAD全株式を譲渡したことによる売却益)、減損損失2億36百万円を計上いたしました。

(減損損失の内訳)

セグメント	対象の固定資産	金額
環境機器 関連事業	連結子会社(CRYSTAL CLEAR CONTRACTOR PTE. LTD.)に係るのれん	1億35百万円
	上水事業における固定資産(地下水飲料化システム)	73百万円
再生可能 エネルギー 関連事業	小形風力発電機関連事業における固定資産(小形風力発電設備)	19百万円
	バイオディーゼル燃料事業に係る固定資産(BDF製造設備)	8百万円

また、非支配株主に帰属する四半期純利益については、連結子会社の株式会社シルフィードにおける種類株主への年4.8%の優先配当を前第3四半期連結会計期間から計上しており、当第3四半期連結累計期間は72百万円(前第3四半期連結累計期間は24百万円)を計上しております。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億35百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

② セグメントごとの経営成績

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境機器関連事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	139億41百万円	127億43百万円	△11億97百万円	△8.6%
セグメント利益(営業利益)	6億94百万円	7億98百万円	+1億3百万円	+15.0%

浄化槽・排水処理システムの売上高は前年同期と比べ減少いたしました。要因として、前年同期の国内売上高において大型案件(電気部品工場および最終処分場)の売上計上がございましたが、当第3四半期連結累計期間はそれらに見合う計上がございませんでした。

また、海外売上高についても、新型コロナウイルス感染症拡大による景況悪化の影響を大きく受けました。なお、中国以外の海外各国については連結子会社の決算日と連結決算日が異なっており、当第3四半期連結累計期間における各社数値は2020年6月30日現在で決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎としております。

ストックビジネスのメンテナンス事業の売上高は前年同期と比べ堅調に推移いたしました。上水エスコ事業の売上高は契約数の増加があったものの顧客の使用水量減少等により前年同期並みの推移に留まりました。

(住宅機器関連事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	106億34百万円	111億9百万円	+4億75百万円	+4.5%
セグメント利益(営業利益)	3億23百万円	2億99百万円	△23百万円	△7.3%

建設関連業者等売上においては、関連するサプライヤーの部品生産拠点が中国国内に多く、商品の入荷遅延がございましたが、代替商品への切り替えにより対処いたしました。また、店舗設備の取り換え需要等が発生したことにより、前年同期と比べ堅調に推移いたしました。

住機部門工事においては、店舗新築の大型案件があったものの全体的には中大型案件が少ない状況でした。しかしながら、2019年10月に連結子会社となった株式会社富士原冷機の売上取込があり、前年同期と比べ堅調に推移いたしました。

なお、ホームセンターリテール商材においては既存店への販売が減少するとともに、ECビジネスにおいては新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりエンドユーザーへの現地調査等の営業活動が停滞いたしました。

(再生可能エネルギー関連事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	5億14百万円	6億90百万円	+1億76百万円	+34.3%
セグメント利益(営業利益)	2億1百万円	2億82百万円	+80百万円	+39.7%

太陽光発電に係る売電事業において、2018年度よりDCMグループの店舗屋根を賃借して発電施設を建設し、固定価格買取制度(FIT)を利用した売電を実施しております。当第3四半期連結累計期間においては6件の施設について売電を開始していることから、前年同期より大幅に増加いたしました。計画では残り2ヶ所(石川県金沢市・茨城県鹿嶋市)を残すのみとなっております。

その他、バイオディーゼル燃料事業および小形風力発電機関連事業については前年同期と比べ減少いたしました。

(その他の事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	15億円	11億43百万円	△3億56百万円	△23.8%
セグメント利益(営業利益)	1億30百万円	1億44百万円	+14百万円	+10.9%

土木工事業において、株式会社DADを第2四半期連結会計期間末に売却したことにより売上高は大きく減少しております。

家庭用飲料水事業については、前年同期と比べ堅調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動資産	189億6百万円	151億44百万円	△37億61百万円	△19.9%
固定資産	110億1百万円	103億17百万円	△6億84百万円	△6.2%
資産合計	299億7百万円	254億61百万円	△44億45百万円	△14.9%

前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、前連結会計年度末日に回収予定であった債権の回収が第1四半期連結会計期間となりました。また、株式会社DADを第2四半期連結会計期間末において売却したことにより、流動資産と固定資産が大きく減少しております。

(負債・純資産)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動負債	186億24百万円	117億91百万円	△68億33百万円	△36.7%
固定負債	20億79百万円	44億23百万円	+23億44百万円	+112.7%
純資産	92億3百万円	92億46百万円	+42百万円	+0.5%
負債・純資産合計	299億7百万円	254億61百万円	△44億45百万円	△14.9%

株式会社DADを第2四半期連結会計期間末において売却したことおよび短期借入金を返済したことにより流動負債が減少しております。また、太陽光発電に係る売電事業および小形風力発電事業に係る設備投資を資金使途としたグリーンボンド(適格機関投資家限定の無担保社債)を発行したことにより固定負債が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2020年12月期連結業績予想について)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による業績への影響額を合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。今回の予想では、国内をはじめ各国における人的移動に関する規制の緩和等を考慮しつつ現時点において入手可能な情報および当第3四半期連結累計期間の実績等に基づき、連結業績予想を算定して公表することといたしました。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,165,564	6,752,100
受取手形及び売掛金	6,230,157	4,757,205
完成工事未収入金	2,332,081	1,052,601
商品及び製品	447,092	458,950
仕掛品	9,458	17,617
未成工事支出金	1,847,114	1,248,532
原材料及び貯蔵品	270,135	266,384
その他	718,744	713,968
貸倒引当金	△114,300	△122,685
流動資産合計	18,906,047	15,144,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,066,217	2,125,906
減価償却累計額	△685,616	△737,831
建物及び構築物（純額）	1,380,601	1,388,075
機械装置及び運搬具	7,361,215	6,520,990
減価償却累計額	△2,661,576	△2,015,758
機械装置及び運搬具（純額）	4,699,638	4,505,232
土地	1,624,256	1,617,236
建設仮勘定	524,069	429,750
その他	738,645	634,782
減価償却累計額	△604,660	△523,804
その他（純額）	133,985	110,977
有形固定資産合計	8,362,550	8,051,271
無形固定資産		
のれん	772,544	540,411
その他	260,140	241,854
無形固定資産合計	1,032,685	782,266
投資その他の資産		
投資有価証券	374,792	399,077
その他	1,446,920	1,314,352
貸倒引当金	△215,365	△229,795
投資その他の資産合計	1,606,347	1,483,634
固定資産合計	11,001,583	10,317,172
資産合計	29,907,630	25,461,849

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,484,324	2,018,541
工事未払金	1,405,445	1,036,335
短期借入金	10,700,654	5,773,478
1年内返済予定の長期借入金	147,240	83,016
1年内償還予定の社債	—	300,000
未払法人税等	177,335	143,590
未成工事受入金	1,661,795	876,062
賞与引当金	107,394	261,041
引当金	284,248	102,399
その他	1,656,437	1,197,273
流動負債合計	18,624,877	11,791,737
固定負債		
社債	100,000	2,650,000
長期借入金	581,656	419,222
引当金	88,963	83,971
資産除去債務	360,731	382,209
その他	948,117	888,510
固定負債合計	2,079,468	4,423,913
負債合計	20,704,346	16,215,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,290	1,983,290
資本剰余金	1,766,394	1,766,394
利益剰余金	3,865,705	3,892,730
自己株式	△294,892	△289,550
株主資本合計	7,320,497	7,352,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,366	32,967
為替換算調整勘定	△190,108	△215,905
その他の包括利益累計額合計	△166,742	△182,937
新株予約権	—	3,925
非支配株主持分	2,049,530	2,072,346
純資産合計	9,203,284	9,246,197
負債純資産合計	29,907,630	25,461,849

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	26,590,117	25,687,550
売上原価	21,476,105	20,256,984
売上総利益	5,114,011	5,430,566
販売費及び一般管理費	4,358,547	4,600,141
営業利益	755,463	830,424
営業外収益		
受取利息	2,868	5,700
受取配当金	2,736	22,695
仕入割引	127,826	103,907
持分法による投資利益	—	446
その他	55,903	102,845
営業外収益合計	189,334	235,594
営業外費用		
支払利息	31,719	30,445
持分法による投資損失	6,440	—
株式交付費	14,465	—
新株予約権発行費	—	11,119
貸倒引当金繰入額	2,904	△246
支払手数料	15,250	42,966
その他	17,317	20,011
営業外費用合計	88,098	104,296
経常利益	856,699	961,722
特別利益		
固定資産売却益	4,599	9,101
投資有価証券売却益	5,279	5,547
関係会社株式売却益	—	152,298
受取補償金	81,058	—
特別利益合計	90,937	166,947
特別損失		
固定資産売却損	—	83
固定資産除却損	16,471	4,282
減損損失	83,415	236,810
投資有価証券売却損	9,219	29
投資有価証券評価損	—	6,717
特別損失合計	109,106	247,923
税金等調整前四半期純利益	838,529	880,746
法人税、住民税及び事業税	458,459	327,650
法人税等調整額	△70,042	145,333
法人税等合計	388,417	472,983
四半期純利益	450,112	407,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,000	72,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,112	335,762

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	450,112	407,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,495	9,601
為替換算調整勘定	△48,802	△24,290
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,099	△1,506
その他の包括利益合計	△32,406	△16,195
四半期包括利益	417,705	391,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,705	319,567
非支配株主に係る四半期包括利益	24,000	72,000

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連事業	住宅機器 関連事業	再生可能 エネルギー 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,941,104	10,634,745	514,264	25,090,113	1,500,003	26,590,117
セグメント間の 内部売上高または振替高	17,540	42,407	678	60,626	170	60,796
計	13,958,644	10,677,153	514,942	25,150,740	1,500,173	26,650,914
セグメント利益	694,395	323,628	201,858	1,219,882	130,605	1,350,488

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,219,882
「その他」の区分の利益	130,605
セグメント間取引消去	122,797
全社費用(注)	△717,821
四半期連結損益計算書の営業利益	755,463

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境機器関連」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、83,415千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社DAインベントに係るのれんを、株式取得時に事業計画で想定していたプロジェクトの大幅な遅延により、のれん残高全額の76,611千円を減損損失として計上しております。

なお、当該減損額は上記「(固定資産に係る重要な減損損失)」の「環境機器関連事業」セグメントにおける減損損失の計上額に含まれております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連事業	住宅機器 関連事業	再生可能 エネルギー 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,743,336	11,109,801	690,748	24,543,886	1,143,664	25,687,550
セグメント間の 内部売上高または振替高	27,540	1,084	451	29,075	4,830	33,906
計	12,770,877	11,110,885	691,199	24,572,962	1,148,495	25,721,457
セグメント利益	798,281	299,916	282,038	1,380,237	144,781	1,525,018

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,380,237
「その他」の区分の利益	144,781
セグメント間取引消去	97,510
全社費用(注)	△792,104
四半期連結損益計算書の営業利益	830,424

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境機器関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、208,840千円であります。

「再生可能エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、27,970千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社であるCRYSTAL CLEAR CONTRACTOR PTE. LTD.に係るのれんを、株式取得時に想定していた受注案件の見直し等の影響により当初想定期間内での投資回収が見込めなくなったことから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として135,349千円計上しております。

なお、当該減損損失は上記、「(固定資産に係る重要な減損損失)」の「環境機器関連事業」セグメントにおける減損損失の計上額に含まれております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。